

交通安全通信

第六十一号 (秋号)

秋の全国交通安全運動

【期間】
令和五年九月二十一日から
九月三十日までの十日間
実施されます。

【スローガン】

安全を
つなげて広げて
事故ゼロへ



令和5年9月21日～9月30日
秋の全国交通安全運動

9月30日は「交通安全の日」です

～総務交通安全センター～
スルガ自動車学校

〒424-0204
静岡県清水区興津中町522-1
フリーダイヤル0120-017-120

【運動の重点】

- ① こともと高齢者を始めとする歩行者の安全の確保
- ② 夕暮れ時と夜間の交通事故防止及び飲酒運転等の根絶
- ③ 自転車等のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底
- ④ 自分自身と相手を守る交通ルールとマナーの徹底
（人も車も自転車も）

夕暮れ時の早めのライトオン

清水警察署より

清水警察署交通課 金岩係長

暑かった夏が終わりに近づき、日に日に日が早まってきました。これからの季節、みなさんはどのようなことに気を付けますか？

今回の交通安全運動の中心、「歩行者の安全確保」、夕暮れと夜間の交通事故防止」というキーワードがあります。

過去の統計を見ますと、例年秋から冬にかけて、夕暮れ時から夜間の交通事故、特に歩行者が関係する事故が増加する傾向にあります。

もう一つの危険は、暗さに対する認識が人それぞれ異なることです。周囲が薄暗くなり始めたときから、見えにくさは起ります。薄暗くなる時、人や車は周囲の暗さと同化して見えにくくなり、また人の目は、明るさの変化に対応できず、一時的に視力が低下します。改めてドライバーの皆さんには「早めのライトオン」（2月までは午後4時から）をお願いします。

- ・ドライバーからの見えにくさ解消
- ・歩行者からの車の見えにくさ解消

に効果的なので、「見えていないつもり」ではなく、「歩行者への存在アピール」として、点けていただきましたと思います。

最後に、「歩行者の安全確保」と「夕暮れと夜間の交通事故防止」のため、次のことをお願いします。

- ① 慌てず、焦らず、確実な安全確認
- ② 横断歩道は歩行者優先の再認識
- ③ 早めのライトオンとハイビームの活用

歩行者は自分自身を守ることも心掛け、自転車を含めた運転者はハンドルを握ることの責任の重さを再認識し、歩行者を守る安全運転を心掛けましょう

**自転車に乗るとき
注意すること**

① 歩行者を優先してあげよう

みなさんは、道路交通法で定められているので、歩道で自転車を運転できます。しかし、**自転車は車の仲間**という事を忘れてはいけません。もし歩行者がいたら大変です。安全のために、思いやりを持って運転しましょう！

②必ずヘルメットを着用しよう！

ヘルメットを着用していないときに転んで頭を打ってしまつたら・・・みんなさんの命を守るために、必ずヘルメットを着用しましょう。あご紐のつけ忘れも注意しましょう。



どんなヘルメットを着用すればいいの？

世界には、いろいろなヘルメットがありますね。その中で、どのヘルメットを着用すればいいか分からないとき、ありませんか？ そんな時はこのマークを探してみてください。

「Sマーク」といいます。



このマークがあれば、そのヘルメットが安全であるという意味です。これらのマークは、ヘルメットのどこかにプリントされています。

他にもいろんなマークがあります。迷ったらこのマークがついているものを選びましょう！

夜間の無灯火運転禁止

つい最近まで明るかったのに、日没が早まってしまったね。ということは、外が暗くなる時間も早くなっています。暗い中、ライトを点けずに運転するのは非常に危険です。



周りから見えにくくなったり、自分の視界が真っ暗になって安全の確認ができなくなってしまういます。そうなるのを防ぐため、事故に遭ったり、逆に加害者になってしまつた危険も高まります。そういった危険を減らすため、暗くなる前にライトを点けましょう。

電池が切れていたり故障している場合があるので、定期的に点検しましょう。

釣り中の事故に注意

清水海上保安部より

秋になると暑さもやわらぎ、釣りに出かける人が増えます。しかし、海が穏やかでも事故にあつた危険性があります。

●「一発大波に注意」

夏から秋にかけては台風季節です。台風は、強い風で大きな波を起し、遠く離れた風のないところまで波を伝えます。この波は、

長い距離を伝わる内に小さな波になって、波同士が重なって、大きな波になることがあります。この大きな波は約千回に一回の割合で発生し、通常より大きな「一発大波」となって沿岸をおそつと言われています。

●「命を守るために」
清水海上保安部では事故防止のためにみなさんへお願いがあります。釣りに行くときは必ず大人と行きましょう。また、大人と釣りをするときは

●「釣り中の事故発生」
釣り中の事故は毎年発生しています。今年も釣りをしていた男性が、バランスをくずして海へ落ちて流されてしまった事故が起きています。男性は救命胴衣と防水バック入り携帯電話を持っていたので、家族に

- ① ライフジャケット着用
 - ② 連絡手段の確保（防水バック入り携帯電話など）
 - ③ 緊急時は118番通報
- を守り、安全に釣りを楽しみましょう。



● 無理をしない
● 無理行動をしない
● 出入禁止区域に入らない
● 航行計画を製品室に伝える

秋の事故ゼロキャンペーン 2023.10.10 - 10.10

海の安全情報 Water Safety Guide

海の安全情報推進委員会